

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 京田辺市

## 2. 平成26年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目													
行財政改革推進枠	橋梁、公園遊具等長寿命化修繕事業													
事業着手前														
課題・現状	高度経済成長期に整備した橋梁や公園はコンクリートの耐用年数などから、老朽化によりここ10年ほど間に著しく安全性が損なわれ、また耐用年数が過ぎてしまうと多額の修繕コストがかかることが指摘されている。今後老朽化する橋梁数の増加に備え、平成25年度で策定した橋梁、公園の長寿命化計画に基づき、従来の事後的な修繕及び架け替えから、損傷が大きくなる前の予防的な修繕及び計画的な架け替えへの転換を図り、橋梁、公園施設の寿命を延ばすことで、将来的な財政負担の軽減及び、道路交通の安全性及び市民が安心して利用できる施設を整備するもの。													
事業概要	橋梁長寿命化修繕計画及び公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を行い、将来的な修繕コストの縮減を図るもの。													
期待される事業効果等	従来の対症療法型修繕による今後50年間の事業費43億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型修繕の事業費は10億円となり、今後計画に沿った事業を実施することにより、33億円のコスト縮減効果が期待できる。													
事業実績														
取組状況	橋梁長寿命化修繕計画及び公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を行った。													
主な実績数値 (出来高数値等)	7橋の修繕設計及び、13公園(21基)の遊具等の更新を行った。													
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	策定計画に沿った事業の実施により、維持管理コストの縮減及び道路交通・公園施設の安全性が確保できた。											
行革効果														
行革効果の考え方	○橋梁長寿命化 -従来の対症療法型修繕 : 50年間で43億円 …年間86,000千円 -長寿命化修繕計画実施による予防保全型修繕 : 50年間で10億円 …年間20,000千円  ○公園長寿命化 -従来のライフサイクルコスト : 10年間で13.4億円 …年間134,030千円 -長寿命化(整備費平準化)でのライフサイクルコスト : 10年間で11.6億円 …年間116,509千円													
年度	H26	H27	H28	H29	H30			合計						
行革前(a)	220,030	220,030	220,030	220,030	220,030			1,100,150						
行革後(b)	136,509	136,509	136,509	136,509	136,509			682,545						
行革効果(a)-(b)	83,521	83,521	83,521	83,521	83,521			417,605						